
好きなのに言えなくて

深闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

好きなのに言えなくて

【Nコード】

N9876L

【作者名】

深闇

【あらすじ】

沖田×神楽の作品です。

二人とも少しキャラが崩壊していますが学園風なので楽しんで見て頂ければ幸いです。ちよっとほかのバリエーションもチャレンジしてみます。

銀魂ファンはどう評価してくれるのか楽しみです。

（前書き）

沖田も神楽も可愛くかけました。

でもなんか・・・イメージにそぐわない気が・・・（汗）

ま、いいか・・・

感想待ってます。・・・あと評価も・・・（笑）

ワタシは神樂。ある日あいつに出会ってあいつのことが好きになった。もう3年も経つのにいつまで経っても気持ちを伝えられないでいる。

（あのゴリラは気持ちを伝えられていいアルナ・・・）

「お妙さあーん！！俺とけっこゴフツ・・・」

またゴリラがアネゴに殴られた。馬鹿アル。

「アネゴ・・・ちよつと言いアルカ？」

「あら神樂ちゃん。・・・大事な話なら外でしましょう。」

様子を察してくれたらしくアネゴはワタシを連れ、屋上に向かった。

オレはいつもの通り、屋上で昼寝をしていた。

（ジャマでうるせえ副長もいねえし。静かでもいいぜ。）

だが今日は違っていた。

キィ・・・と音を立てて扉が開いた。思わず舌打ちをして音のした所に目を向ける。

（一体誰が・・・！！チャイナ！！・・・と姐さん。）

「で、どうしたの？」

「す・・・好きな奴がいるアル・・・」

「！？」

オレは思わず耳をそばだてる。

「まあ！だあれ？？」

「S組のすごいかつこいいやつアル・・・」

「告白したい？」

数瞬黙ってこくりと頷いた。

「じゃあコレあげるわ。私が持っても意味ないし。」

手渡された、小さなお守り。

「ありがとうアル！！」

チャイナはうれしそうにそれを握りしめ、去っていった。
「……………」

オレは姐さんが去ったあと、ひそかにチャイナのあとをつけた。

ワタシはまたあいつを探していた。

「どこ行ったアル……あの馬鹿……」

曲がり角に差し掛かって

どんっ!!

とぶつかり、ワタシは尻餅をついた。

「いったあ………何するア………」

あいつだった。

「……よお。コレ、お前のか？」

あいつの手にあるのは小さなお守り。

「かつ……返すアル!! お前には関係ナイネ!!」

「……………そうか。」

あいつはそういつてワタシの手を握った。

「な、何するアルか?!」

「うるせえ。」

あいつは華奢なのにこんなに強い力でぐいぐい引つ張っていく。

ワタシが連れて来られたのは校舎裏だった。

「チャイナ、いや。神楽今日はいわせてもらう。…………好きだ。」

「……………!!」

びつくりする以前に泣いてしまった。

「それ誰にあげるつもりだったんでい………」

あいつ——沖田はワタシに向かってそう聞いた。

「お、お前アル………」

泣きながら、ワタシは答えた。

「泣くもんじゃねえよ………」

沖田はワタシにそういつて……

「!!!!」

最初は驚いたが、うれしくて目を瞑った。

「返事をくれるか??」

「ワタシも・・・大好きアル!!」

そういつてワタシは沖田に笑いかけ抱きついた。

（後書き）

最後まで見てくれてありがとうございます。
これからも何か書きたいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9876/>

好きなのに言えなくて

2011年10月6日01時01分発行